

平成25年度 地球温暖化防止のための

福島議定書 (上級編)

福島県知事 様

わたしたちは、温室効果ガスの排出量(二酸化炭素換算)を基準年度(平成____年度)より____%減らすことを目標に、以下のような取組を実施します。

平成22,23,24年度より選択する。

節電

・

節水

・

使用燃料の削減

・

温暖化対策の取組意識向上のための工夫

・

職場交通マネジメントの取組 (クルマ通勤からの転換)

【積極的な取組をお願いします】

・

ゼロエミッションの取組 (廃棄物ゼロ)

【積極的な取組をお願いします】

・

事業所名

代表者(職・氏名)

知事の署名

印

● 貴事業所の概要についてご記入ください ●

事業所名	
住所	〒 ー

担当者	部署		氏名	
	電話番号			
	FAX番号			
	Eメール			

事業種別 部門 ※いずれかに 「○」		オフィス・店舗等
		製造業等
		運輸・設備業・その他

従業員数		人
------	--	---

※ 従業員数は、正規・パート等雇用形態を問わず
従事する人数を記載してください。

取組期間	1年 (平成25年4月1日～平成26年3月3 1日)となります。
------	--

アドバイザー 派遣 ※いずれかに 「○」	福島議定書 省エネアドバイザーの派遣を
	希望します
	希望しません

※下記注釈を参照してください。

広報 ※いずれかに 「○」	事業所名について 県のホームページ「ふくしまの環境」 への掲載を	
		希望します
		希望しません

エコドライブ 講師派遣 ※いずれかに 「○」	エコドライブ講師の派遣を
	希望します
	希望しません

※ 希望する事業所へは、アドバイザー及びエコド
ライブ講師派遣に関する資料を別途送付します。
※ 希望する事業所が多数の場合には、要望に沿
えない場合があります。

家庭版エコチャ レンジシートの 配布について	「家庭版エコチャレンジシート」を従業員の皆様に配布して、 家庭での温暖化対策を推進してください。 なお、「家庭版エコチャレンジシート」は、県のホームページからダウンロードしてください。
------------------------------	--

本様式の電子データ(エクセル、PDFファイル)は、
県のホームページ [ふくしまの環境](#) に掲載しています。

平成25年度 福島議定書(上級編) 取組結果報告書

事業所名		■提出期限 平成26年11月28日 ■提出先 ●福島県庁 環境共生課 〒960-8670 福島市杉妻町2-16 FAX 024-521-7927 メール kyousei@pref.fukushima.lg.jp ●最寄りの地方振興局
電話番号		
担当者名		

取組期間	1年(平成25年4月1日～平成26年3月31日)
基準年度	平成 年度

●温室効果ガス排出削減量

(1) 事業所における削減量(CO₂換算)

(単位:t-CO₂)

	基準年度 ①	平成25年度 ②	削減量 ③(①-②)	削減率(%) ③/①×100
温室効果ガス排出量(実排出量) ※1				
調整後温室効果ガス排出量 ※2				
温室効果ガス排出量増減の要因				

※1 ①エネルギー起源CO₂、②非エネルギー起源CO₂、③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源CO₂、④メタン、⑤N₂O、⑥HFC、⑦PFC、⑧SF₆、⑨エネルギー起源CO₂(発電所等配分前)の合算です。

※2 「温室効果ガス排出量(実排出量)」から、京都メカニズムクレジットの合計量、環境大臣等が定める国内排出削減量の合計量及び廃棄物燃料の使用に伴う非エネCO₂実排出量を除いたものです。

ただし、電気の使用に伴うCO₂排出量については、調整後排出係数を用いて算出することとなっています。

(2) 過去のエネルギー使用に係る原単位の変化状況 ※算出可能な場合に記入する。

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	5年度間平均
原単位						
対前年度比(%)						

(2) 職場交通マネジメント(クルマ通勤からの転換)による削減量

	取組人数	平成25年削減量(単位:kg-CO ₂)
裏面の「クルマ通勤をしなかったことによる二酸化炭素排出削減量」の合計数値を記載してください。	人	

●ゼロエミッション(廃棄物ゼロ)の取組状況 ※ 取組内容を記載してください。(資料添付可)

取組内容	
------	--

●家庭版エコチャレンジシートの取組状況

従業員への配布枚数	枚
-----------	---

●特記事項 ※ 審査の参考になる資料がありましたら添付してください。

取組内容 (自由記載) ※任意様式可	※ 省エネ法に基づき国に提出したエネルギー使用状況届出書、中長期計画書、定期報告書及び温対法に基づき提出した温室効果ガス算定排出量等の報告書の写しを添付してください。
--------------------------	---

●温室効果ガス排出量(CO₂換算)

(単位:t-CO₂)

	温室効果ガス排出量(実排出量)		調整後温室効果ガス排出量	
	基準年度	平成25年度	基準年度	平成25年度
①エネルギー起源CO ₂				
②非エネルギー起源CO ₂				
③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源CO ₂			—	—
④メタン				
⑤N ₂ O				
⑥HFC				
⑦PFC				
⑧SF ₆				
⑨エネルギー起源CO ₂ (発電所等配分前)				
京都メカニズムクレジットの量及び国内認証排出削減量の量の合算	—	—		
合計				

※⑥HFC、⑦PFC及び⑧SF₆については、前年1年間(暦年単位)、その他のガスは前年度1年間(年度単位)の量となります。

■職場交通マネジメントによる二酸化炭素排出削減量の算出方法

*ガソリンの二酸化炭素排出係数 2.3(kg/ℓ)
*自動車の標準的な燃費 10(km/ℓ)とする

●マイカー通勤から公共交通機関等、他の交通手段へ転換した場合の二酸化炭素削減効果の算出方法

$$2.3(\text{kg}/\ell) \times \text{【A】通勤距離(km)} \div 10(\text{km}/\ell) \times \text{【B】クルマを使用せず通勤した日数}$$

●各従業員の二酸化炭素排出削減量の合計=事業所における二酸化炭素排出削減量

●クルマ通勤をしなかったことによる二酸化炭素排出削減量

従業員	【A】通勤距離 [往復](km)	クルマ通勤をしなかった日数												削減量 (kg-CO ₂)	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		【B】計
1															
2															
3															
4															
5															
削減量 合計															

■審査項目 ※平成25年度の表彰にあたり、下記の項目について審査を行います。

- 事業所における温室効果ガス排出 削減量・削減率
- 職場交通マネジメント(クルマ通勤からの転換)による二酸化炭素排出 削減量
- ゼロエミッション(廃棄物ゼロ)の取組状況
- 家庭版エコチャレンジシートの配布状況
- 取組内容の工夫、取組手法の多様性 等

参考